
とある科学の電脳遊戯～ガンバライド～

ゆーたん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある科学の電腦遊戲〜ガンバライド〜

【Nコード】

N0580N

【作者名】

ゆーたん

【あらすじ】

学園都市 総人口230万人を誇る最先端科学技術が終結した実験都市。そんな学園都市の中で、大人も子供も熱中しとあるゲームが一大ブームとなっている。

自らが生み出したマスクドライバーにパーツを組み合わせ、自分好みにカスタマイズしたライダーを他のプレイヤーのライダーと対戦させる、新感覚の格闘体感ゲーム……それが『マスクドライバーBGR』である。

(前書き)

息抜きでこんな作って見ました(笑)

学園都市 総人口230万人を誇る最先端科学技術が終結した実験都市。

その内8割を学生が占めており、学園都市の由来でもある。

その学生達は日々記憶術という名目で超能力開発に勤しんでいる。薬物、生体刺激により学生達は超能力を身につけていく。しかし全員が能力を発現できる訳ではなく、学生の約6割がレベル0と呼ばれる無能力者に分類される。

レベル0《無能力者》からレベル5《超能力者》の6段階に分けられており、レベル5に該当する能力者は学園都市の中でたった7人しか存在しない。

そんな学園都市の中で、大人も子供も熱中しとあるゲームが大ブームとなっている。

それが『マスクドライダーBGR』である。

参加するためには簡単な手続きが必要で、おもちゃ屋各所で売られているマスクドライダーキット「定価3800円：小学生以下1500円」を購入し、その場で学園都市から発行されるIDを使いBGRに登録を申請することで、参加可能となる。

マスクドライダーキットには、マスクドライダーの型となる特殊粘土、その粘土を変形および鋼殻化させる水溶液、粘土と水溶液を入れるための特殊な容器、マスクドライダーの構成情報を収集する腕時計型の電子端末が含まれている。

作成するためにはまず電子端末からの質問に返答したり、その日の装着者の行動による心拍数や脳波の変化、様々な要因をある一定

の法則に従いポイントを配布する。その配布されたポイントをライダーのステータスに割り振ることにより、のちのちに作成するライダーに変化がもたらされる。

5日ほど電子端末が測定し、6日目にはキットに付属の容器に水溶液と粘土を入れ、容器の底に電子端末をはめ込むことで、電子端末が集めた情報を元にライダーの基礎の体を作っていく。

これらの過程は1週間ほどかかるため、購入してから1週間は最低参加できないという条件が付いている。

ライダーの型が出来上がったあとは、そのままでも遊ぶことはできず出来上がったライダーの基礎パーツをさらに買うことで完成となる。基礎パーツが最初からついていない理由としては、出来上がるまでのライダーが出るかわからない仕様の為である。

なお、学生に対しては学生割りと呼んで出来上がったばかりのライダーを持っていくことで、基礎パーツを無償で配布するようになっている。

一度パーツを装着したライダーの方にはパーツ跡が残るため、何度でももらうことができない仕様にできている。

マスクドライダーBGRは専用の会場や、ゲームセンター、モール内、おもちゃ屋に設けられえた特設ブースにある、専用の機械を使って対戦を行う。

真ん中にはフィールド用の台があり、エアホッケーの台を正方形になるように二つ繋げた位の大きさがある。

その台をはさむようにカプセル状のポッドと呼ばれる操縦席が存在する。ポッドは黒一色に塗られ、中が見えないようになっていて、その為、外から相手の様子を伺うことはできない。

中にはまるで戦艦や戦闘機の操縦席の様な椅子があり、正面には人形を置くための台があるだけである。プレイヤーは正面にある円形の台に人形を立てる。足型にくぼみがあるためはめ込めばいいだけになっている。

そして椅子に座ってコインを入れる。

椅子の先にはペダルの様な台があり底に足を乗せ、体を完全に椅子の上に預けるような形で座る。頭部に装着するリングを頭に装着しコインを入れるとゲームが開始となる。

両手は椅子の両脇にある肘掛におき、その先にある球体の上に掌を重ねる。リングと球体と腕につけている時計形の電子端末により完全にプレイヤーの思考とリンク、つまりイメージのみで操作できるようにになっている。

これが学園都市の最新鋭の科学よるプレイヤーの思考を即座に機械に入力できるインターフェイス、イメージフィードバックシステム I F S である。

バトル開始前の準備としては、パーツの変更や簡単な動作チェックを行うことが出来る。必殺技等はライダーの型が出来た時点で決まっているが、新たに覚えた技があれば変更することが出来る……ただし、設定できる必殺技は3つまでと決められている。技によって発動条件や威力が変わるため、選択は重要である。

お互いの準備が終わるか、60秒経つと自動的にバトルが開始される。

バトルフィールドは機械が常にランダムで選ぶため、完全な運になり得意不得意な場所によっては戦績に大きく影響がでる事もある。外の台ではフィールドとライダーが立体映像で表示されるようになっていて、自由に観戦することが出来る。また別のモニターにも映るため、台周辺に居なくても楽しむことが出来る。モール街や専用会場では街頭の大型モニターにも表示されるため、会場外にいて

も観戦ができるような仕様となっている。

バトルまでにカウントダウン開始と同時にポッド内360°に映像が映し出される。徐々にライダーの視点とリンクしていき、最終的には自分がそのライダーになりきった様になる。

バトルの制限時間は大会以外では通常5分。ライダーの耐久値を0にするか、時間終了時に耐久値の多い方が勝ちとなる。またライダー^{バツ}アーマーにはそれぞれ耐久値があり、耐久値が0になったパーツは破壊されその部分の守備力や攻撃力が激減する。その為いろいろな駆け引きが重要となる。

学園都市での人気が大きいため、特例としてマスクドライバーBGRは日本国内限定で技術を提供している。そして今や日本全土で空前のブームを巻き起こし、年に2度の全国大会が学園都市で開かれるようになった。

全国のプレイヤーは頂点を目指すため、各地区リーグを突破し地方予選を勝ち抜き学園都市を目指す。

すべてはBGRのトップに立つために……。

BGRのプレイヤー達の熱き戦いが今……始まる！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0580n/>

とある科学の電腦遊戯～ガンバライド～

2010年10月16日13時40分発行